

県内経済とくらしむき

長崎県県民生活環境部統計課

【推計人口】1月

| | |
|-------------------|-------------|
| 令和8年1月1日の推計人口 | 1,231,665 人 |
| 世帯数 | 557,620 世帯 |
| (参考) | |
| R2.10.1 現在国勢調査総人口 | 1,312,317 人 |
| 世帯数 | 558,230 世帯 |

1. 推計人口

令和8年1月1日現在の推計人口は1,231,665人で、前月(1,232,820人)に比べ 1,155人となった。

市部では、長崎市(366)、佐世保市(239)など、12市で減少した。

郡部では、新上五島町(45)、川棚町(24)など、7町で減少した。

自然動態は、出生数524人、死亡数1,683人で 1,159人、社会動態は、転入者数2,414人(県内転入を含む)、転出者2,410人(県内転出を含む)で、+4人となった。

2. 世帯数

令和8年1月1日現在の世帯数は、557,620世帯で前月(557,872)に比べ 252世帯となった。

(注) 異動人口推計 = R2国勢調査確定数 + 住民基本台帳(転入、転出、出生、死亡)

【賃金・労働時間・雇用(30人以上)】11月

| | |
|-------------|-----------|
| 1人当たり現金給与総額 | 285,377 円 |
| 対前月比 | 3.9%増加 |
| 対前年同月比 | 4.5%増加 |

1. 賃金

11月の常用労働者1人当たりの賃金をみると、現金給与総額は285,377円で、前月に比べ3.9%増加し、前年同月に比べ4.5%増加した。

現金給与総額を定期給与(きまって支給する給与)と特別給与(特別に支払われた給与)に分けると、定期給与は272,828円で、前月に比べ0.5%減少し、前年同月に比べ5.3%増加した。

特別給与額は12,549円で、前年同月に比べ、1,758円減少した。

2. 労働時間

11月の常用労働者1人当たりの労働時間をみると、総実労働時間は139.9時間で、前月に比べ7.3%減少し、前年同月に比べ6.2%減少した。

総実労働時間を所定内と所定外に分けると、所定内労働時間は129.6時間で前月に比べ7.5%減少し、前年同月に比べ、6.1%減少した。

所定外労働時間数は10.3時間で、前月に比べ1.9%減少し、前年同月に比べ6.4%減少した。

3. 雇用

11月の常用労働者数は219,490人で、前月に比べ0.3%減少し、前年同月に比べ1.1%減少した。

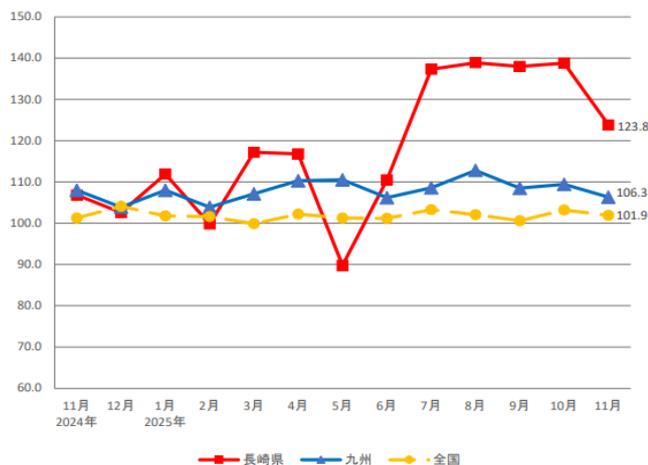
【鉱工業生産指数】11月

令和7年11月の鉱工業生産指数

(2020年 = 100)

| 区分 | 季節調整済指数 | 前月比 (%) | 原指数 | |
|-------|---------|---------|-------|-----------|
| | | | 原指数 | 前月同月比 (%) |
| 長 崎 県 | 123.8 | 10.8 | 127.8 | 18.9 |
| 九 州 | 106.3 | 0.8 | 107.5 | 1.2 |
| 全 国 | 101.9 | 2.7 | 101.1 | 2.2 |

鉱工業生産指数の推移 (季節調整済指数)



2025年11月の鉱工業生産指数は、季節調整済指数が123.8で対前月比は10.8%の低下、原指数は127.8で対前年同月比は18.9%の上昇となった。

業種別にみると、金属製品工業、鉱業、情報通信機械工業など4業種が上昇し、化学工業、電気機械工業、その他製造業など9業種が低下した。

○主な上昇業種

| 業 種 | 前月比 (%) | 上昇に寄与した主な品目 |
|----------|---------|-------------|
| 金属製品工業 | 93.0 | - |
| 鉱業 | 30.7 | - |
| 情報通信機械工業 | 2.4 | - |

○主な低下業種

| 業 種 | 前月比 (%) | 低下に寄与した主な品目 |
|--------|---------|-------------|
| 化学工業 | 50.5 | - |
| 電気機械工業 | 26.3 | 開閉制御装置 |
| その他製造業 | 24.9 | - |

上昇業種、低下業種は全業種13業種から選定している。寄与した品目については、主要業種7業種のみ掲載している。
(注) 前月比は季節調整済指数の対前月増減率のことである。

【長崎市消費者物価指数】12月

| | |
|-----------------|----------|
| 総合指数 (R2 = 100) | 113.9 |
| 対前月比 | 0.2 % 上昇 |
| 対前年同月比 | 2.6 % 上昇 |

長崎市の消費者物価総合指数は、2020年(令和2年)を100として、113.9で前月比0.2%の上昇であった。

主な上昇要因は「食料」の0.8%上昇、「教養娯楽」の0.9%上昇であり、主な下落要因は、「交通・通信」の1.0%下落、「家事・家事用品」の0.6%下落であった。

前年同月比は、8月は2.9%、9月は3.4%、10月は3.2%、11月は3.4%の上昇と推移した後、12月は2.6%の上昇であった。

また、生鮮食品を除く総合指数は112.8で前月と同程度あり、前年同月比は2.8%の上昇であった。

(前月との比較)

上昇した費目

| | |
|---------|-------|
| 食 料 | 0.8 % |
| 教 養 娯 楽 | 0.9 % |
| 保 健 医 療 | 0.3 % |

同水準の費目

| | |
|-----|--------|
| 住 居 | ±0.0 % |
| 教 育 | ±0.0 % |

下落した費目

| | |
|---------------|-------|
| 諸 雑 費 | 0.1 % |
| 光 熱 ・ 水 道 | 0.1 % |
| 被 服 及 び 履 物 | 0.5 % |
| 家 具 ・ 家 事 用 品 | 0.6 % |
| 交 通 ・ 通 信 | 1.0 % |

上記は、物価の寄与度が高い品目より順に上から記載している。

【家計(長崎市・勤労者世帯)】12月

| | |
|--------------|------------------|
| 消費支出(一世帯当たり) | 338,740 円 |
| 前月比 | 39,636円増加(13.3%) |

令和7年12月の長崎市・勤労者世帯(農林漁家世帯を含む)の消費支出は338,740円で、前月比13.3%の増加、前年同月比は1.9%の増加であった。

平均消費性向(可処分所得に占める消費支出の割合)は35.7%であった。

(注) "長崎市の勤労者世帯の家計の平均"と考えず参考値として利用ください。